

2020.4

|              |  |     |         |      |   |       |    |
|--------------|--|-----|---------|------|---|-------|----|
| 科目名          | 和裁Ⅱ基礎実習D   |     |         |      |   |       |    |
| 対象学科         | 和裁本科   | 時間数 | 1095    | 学年学期 | 2 | 必修・選択 | 必修 |
| 担当教員名        | 大濱光美・秋山杏子・鈴木志保   |     | 実務経験の有無 |      | 有 | 授業形態  | 実習 |
| 授業内容         | 長襦袢、浴衣の仕立ての復習と発展、単衣着物、袷着物の素縫いとまとめの習得。  |     |         |      |   |       |    |
| 到達目標         | 長襦袢、浴衣の仕立ては完成度の向上、時間短縮を、子供物、二部式等少し違う形のものの仕立てはその習得を目指す。単衣、袷着物の素縫いでは生地 の性質に注意しながら安定した仕上がりを目指す。素縫いの完成度、目標時間をクリアしたらまとめ工程に入り、袷着物を1人で完成できるようにする。   |     |         |      |   |       |    |
| 授業計画<br>(内容) | 【4月～8月】8月までに浴衣の試験を数回行い、仕上りの向上と時間短縮を目指す。長襦袢は仕上がり向上、時間短縮を目指し応用を学ぶ。単衣着物の仕立てを覚え生地 の性質を理解し完成度を上げる。<br>【9月～12月】長襦袢、単衣着物、袷着物素縫い、まとめ、各工程で目標を設定し、達成を目指す。<br>【1月～3月】引き続き各工程で目標を設定し、達成を目指す。袷着物の仕立てが安定してきたら、訪問着、振袖等柄合わせのある難しいものの仕立てを学んでいく。 |     |         |      |   |       |    |
| 成績評価方法       | 学期末までに日々の課題の状況、平素の授業態度等を合わせ、50点以上を合格とする  |     |         |      |   |       |    |
| 備考           |  |     |         |      |   |       |    |